



北海道教育委員会 2019 年度前期道民カレッジ連携講座（ほっかいどう学コース）

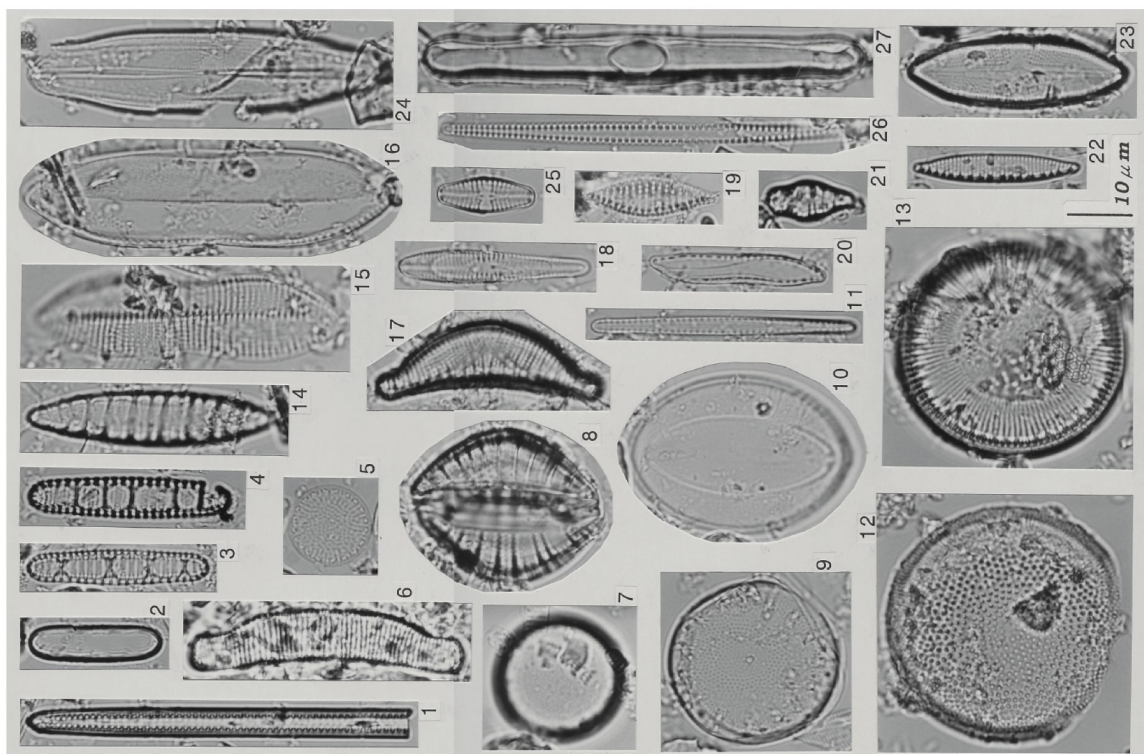
北海道総合地質学研究センター 第五回公開講座（2019 年 7 月 6 日, 13 日）

後援 札幌市 札幌市教育委員会 一般社団法人北海道地質調査業協会

北海道高等学校理科学研究会

小さな化石（珪藻）から石狩平野の 生い立ちを知る - 縄文海進の世界 -

縄文海進は約 11,000 年前から 6,000 年前の温暖化により生じたもので、石狩平野の形成に大きくかかわっています。この講座では、地質学の基礎知識と共に、大きさ 0.05 mm 前後の珪藻化石の分析から同平野の形成過程を説明し、他地域の平野の結果も紹介します。



（様々な形の珪藻化石、右上の棒（スケール）の長さは 0.01mm）

日時 / 1 回目 7 月 6 日（土）、13:30-15:30（13:15 開場予定）

2 回目 7 月 13 日（土）、13:30-15:30（13:15 開場予定）

会場 / かでる 2・7 620 会議室（2 回とも同じ会場です）

北海道立道民活動センター（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

講師 / 嵯峨山 積（北海道総合地質学研究センター）

北海道幕別町出身 北海道大学理学部卒業 博士（理学）酪農学園大学非常勤講師

参加費 / 1 回 1,000 円（1 回のみ参加も可、高校生以下は半額） 参加定員 / 各 30 名

申込期限 / 2019 年 7 月 2 日（参加人数に余裕があれば前日まで受付けます）

参加申込・問合せ先 / E-mail: office@hrcg.jp Tel: 080-5830-2016

主催 / 特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター（<http://www.hrcg.jp/>）

（申込まれた方の個人情報は当センターのプライバシーポリシーに従い、適正に管理いたします）

公開講座の経費の一部は「札幌市さぼーとほっと基金助成事業」の助成金を用いています。

札幌市
さぼーとほっと基金
助成事業



道民カレッジ単位認定
北海道地質調査業協会
CPD 証明書発行

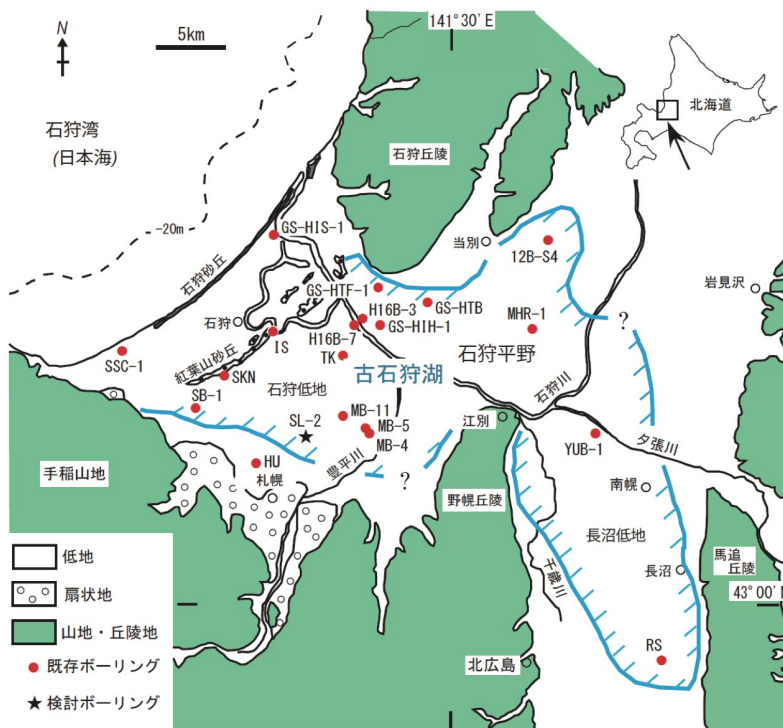
講座内容

1回目 7月6日 (13:30-15:30)

- 1) 地質学の基礎知識, 第四紀の氷河期と間氷期, 完新世の縄文海進
- 2) 珪藻化石の役割 (地質年代決定と堆積環境), 珪藻群集と塩分濃度との関係

2回目 7月13日 (13:30-15:30)

- 3) 石狩平野や我が国の沖積平野, 変動する海水面
- 4) 珪藻化石による石狩~長沼低地や他地域 (厚岸湾や猿払川流域, 伊勢平野) の検討
塩分指数の意義



水色の線に囲まれた部分は汽水湖 (古石狩湖) の範囲で, 縄文海進により石狩~長沼低地に広がった約 6,000 年前の様子 (嵯峨山ほか, 2018)。

汽水湖とは, 海水と淡水が混じりあう湖。
北海道ではサロマ湖や厚岸湖がその例。

嵯峨山 積・佐藤 明・井島行夫・岡村 聡, 2018, 北海道札幌市東区のボーリングコアにおける上部更新統~完新統の堆積環境と層序, 総合地質, 2, 1-11.

講師プロフィール

嵯峨山 積 (さがやま つもる)

北海道総合地質学研究センター副理事長, 研究員
博士 (理学)

略 歴

北海道幕別町生まれ, 江別市在住

1974 年 北海道大学理学部地質学鉱物学科卒業

1974 ~ 2016 年 北海道立総合研究機構地質研究所 (旧北海道立地下資源調査所) で
地域地質や浅海域地質, 沖積層などの研究に従事

1994 ~ 1995 年 カナダ地質調査所・太平洋地球科学センター (PGC) で海外研究

2016 年~現在 酪農学園大学非常勤講師 (地形・地質学)

